

# 第1章 調査の概要

## 1. 調査の目的

本調査は、市が推進するまちづくりへの意見をアンケート形式で伺い、第5次総合計画後期基本計画（以下「後期基本計画」という。）に掲げる施策等に対する市民の現状の「満足度」、今後の「重要度」などを把握し、後期基本計画の施策評価に活用するとともに、次期総合計画策定の基礎資料とすることを目的とする。

## 2. 調査の設計

- (1) 調査対象：3,000人（無作為抽出による伊勢原市に居住する18歳以上の市民）
- (2) 調査方法：調査票の配布は郵送、回収は郵送又はインターネット回答
- (3) 調査期間：令和元年10月31日（木）～11月22日（金）
- (4) 調査項目
  - ①回答者属性
  - ②伊勢原市のまちづくり施策
  - ③伊勢原に対する愛着や誇りなど
  - ④「しあわせ」実感
  - ⑤今後のまちづくり
  - ⑥市政情報の入手方法など

## 3. 回収状況

発送数	回収数	回収率
3,000件	1,366件	45.5%

## 4. 標本誤差

今回の調査の回答結果から、調査対象となる母集団全体（伊勢原市に住む18歳以上の市民）の比率を推定するため、単純無作為抽出の場合の標本誤差の＜算出式＞と＜早見表＞を以下に示す。

統計学上の標本誤差は、①比率算出の基数（サンプル数）及び②回答の比率（p）によって誤差幅が異なる。

＜標本誤差算出式＞

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N = 母集団数（伊勢原市18歳以上の男女）  
 n = 比率算出の基数（回答者数）  
 p = 回答の比率（%）

## 第1章 調査の概要

回答比率(p) 回答者数(n)	5%又は 95%程度	90%又は 10%程度	80%又は 20%程度	70%又は 30%程度	60%又は 40%程度	50%程度
100	±4.27%	±5.88%	±7.84%	±8.98%	±9.60%	±9.80%
200	±3.02%	±4.16%	±5.54%	±6.35%	±6.79%	±6.93%
500	±1.91%	±2.63%	±3.51%	±4.02%	±4.29%	±4.38%
1,000	±1.35%	±1.86%	±2.48%	±2.84%	±3.04%	±3.10%
1,366	±1.16%	±1.59%	±2.12%	±2.43%	±2.60%	±2.65%
5,000	±0.60%	±0.83%	±1.11%	±1.27%	±1.36%	±1.39%

※上表は  $\frac{N-n}{N-1} \approx 1$  として算出している。なお、この表の信頼度は95%である。

### 注／標本誤差表の見方

今回のように全体（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査では、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことを標本誤差という。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、その誤差を数学的に計算したのが、上表である。この表の見方としては、例えば、「ある設問の回答者数が1,366人であり、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.60%以内（57.40～62.60%）である」とみることができる。

## 5. 報告書の見方

- ・図表中のnとは回答者数のことである。
- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響により、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。